

(別紙)

令和5年9月定例会議 一般質問

1 番議員 清水 友紀

地域活性化と環境保全を担うための農業施策について問う

移住先として本町が選ばれる理由の一つに、「自然豊かな環境でのびのび子育てが出来ること」がある。近隣市町の山々を背景に、田畑の豊かな実りや水路が身近に感じられるからである。

町内の子どもたちは、農業委員会主催の行事では、田植えや稲刈り体験ができ、教育における幼少中高連携の取組のなかでは、芋ほりや乳酸菌飲料作りなど、農業に関わる豊富な実体験ができる。

しかし、本町においても農業従事者数は主に高齢化で減少しており、遊休農地を目にすることも少なくない。環境保全や地産地消を進めようとする流れと、県の未病改善の取り組み推進等で食に対する安全意識が高まっているなか、農業はますます関心を集め、また重要性を増している。そこで、本町における農業について以下の質問を行う。

- (1) 地域交流や生涯学習と農業の関わり方は。
- (2) 吉田島高校の存在を町の特徴としてアピールする施策は。
- (3) 農業従事者数の減少に対する農地集積化の課題は。